

水稲、小麦／栽培技術の確立・向上、省力化、単収・品質の向上、施設整備、食農活動 スマート農業技術を導入した栽培管理作業の効率化・省力化・品質向上 ～寺澤氏（愛知県犬山市）～

経営体の概要

就農当初：令和2年
基幹作物：水稲
経営面積：20.0ha

現在：令和7年
基幹作物：水稲、小麦
経営面積：41.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

- 自然的・社会的状況の変化等に起因して、農業用排水施設の機能が低下。
- 都市化・混在化の進行に伴う家庭雑排水の流入やゴミ投棄等により水質が悪化し農作物に被害。



宮田導水路
(雑排水流入)

【現在】

- 国営事業等の実施により、用水が安定供給されるほか、農業用水と排水の分離が行われ、生活排水の流入が減少し、水質の改善が図られ、安定した農業生産が維持されている。



犬山頭首工

営農改善、経営転換等のポイント

①栽培技術の確立・向上

国営土地改良事業により農業用水が安定的に供給されたことや排水機能の回復に伴い、水稲・小麦の安定生産が可能となった。

水稲のV溝乾田直播栽培を導入することで、播種作業の省力化を図るとともに、小麦の収穫作業と重複しないよう効率化を図っている。さらに、病害虫防除、深耕、丁寧な整地といった基本技術を徹底することで、移植栽培と同等以上の収量・品質が得られている。



寺澤氏

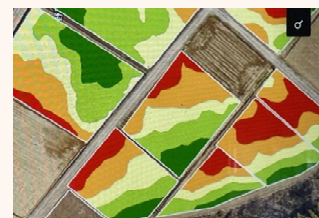
②ICT技術を活用した省力化、単収・品質の向上、施設の整備

水位センサーを使用して水稲の水管理作業を効率化している。

病害虫防除や追肥は、ドローンを使用して省力化を図るとともに、営農支援システムを活用して農地管理を行うことで、作業する水田を見る化し、作業記録を蓄積することで、作業性の向上を図っている。

また、衛星画像を使った「地力・生育マップ」を活用し、病害虫防除や施肥を適切なタイミングで行うことや、新しい資材、栽培方法、品種等を積極的に導入することで、単収・品質の向上を図っている。

米の乾燥・調整は外注していたが、他の農家との兼ね合いで作業日が決まり、計画的に作業ができないため、乾燥施設等を導入して、作業の効率化を図っている。収穫後すぐの乾燥や、色彩選別機を活用した調整等により、米の高品質化を図っている。



生育マップによる営農管理



作業効率・品質向上のために導入した乾燥機等

③食農活動

未来の農業を守っていくために、幼少期からの教育やイメージ戦略が重要と考え、小学生への農業体験や話をする機会等、積極的に地域からの要望に応え、農業に対するイメージを向上させる活動を行っている。

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業
関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び
愛知県名古屋市外12市5町
受益面積：10,139ha
事業期間：平成10年度～令和9年度（予定）
事業目的：農業用排水施設の機能回復
主要工事：頭首工補修一式 用水路改修 L=32.0km
排水路改修 L=27.3km

位置図



新濃尾地区

<問い合わせ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和7年度調査時点）